

本人が物語風に綴る闘病記

44歳で甲状腺がんと中咽頭がんが見つかりましたが、
中2の娘が「大したことないやん」と言うので。

著：原 利彦（1972年 生まれ）



甲状腺がん治療&中咽頭がん経過観察 編 063：『外の世界』で生きていくために。

2017年7月18日（火） 治療終了から29日目 退院から8日目

朝、トキは会社に仮出社をして、社内会議の場で、とりあえずの無事とお礼を伝えました。

病状の詳細は、プライベートなことなので伝える必要はありません。いまだに外部の仕事関係者の殆どは、トキが、がんに罹患していることすら知りません。当初から会社にも、病名と休む期間を『診断書』で伝えているだけで、ステージ4だの、余命半年の状態だただの、副作用のあれこれについても、一切、伝えていません。そもそも、まだ、治療の結果もわかっていない状況なので……。しかし、いずれ、副作用や検査のための通院が必要になることは伝えなければならないでしょう。

トキは病院の『外の世界』で生きていくために必要なものを色々と揃えていました。

頸の手術痕を隠す襟の高い服。

カロリーを補うためのメイバランス。

唾液の分泌を促すキシリトールガム。



そして、口腔内を清潔に保つためのモンダミン。



トモも日々、『おくすりごはん』を研究して作ってくれました。相変わらず味覚は元の半分もなく、バランスも悪いため・・・まあ、これがトキにとっての『普通』です。食べるのに時間はかかりますが、食欲自体は旺盛なので、この調子で全てに慣れていくしかありません。

2017年7月24日（月） 治療終了から35日目 退院から14日目

今日から本出社です。トキは映像編集の仕事をしてみました。4か月ぶりではありましたが、『**意外と出来るもんだ**』という感じで『普通』に出来たのです。

⇒ **064 : 再び、3大副作用悪化の危機。**